

学校感染症による出席停止の扱いについて

お子様が下記の感染症にかかった場合は、出席停止扱いになります。(欠席にはなりません)
医師の指示に従って、ご家庭でゆっくり休養されますようお願いいたします。
なお、登校される時は主治医の先生に下記について記入していただき、担任まで提出ください。

主治医様

本校児童が受診した時は、お手数ですが、下記に記入の上、保護者にお渡しください。

学校感染症等に係る登校に関する意見書

年 組 名前

◎第1種感染症

☐ 新型インフルエンザ等・() 【治癒するまで】

◎第2種感染症

☐ インフルエンザ (A型 ・ B型) 【発症後5日かつ、解熱後2日を経過】

※ 新型インフルエンザ・鳥インフルエンザは第1種

- ☐ 麻疹【解熱後3日経過】 ☐ 水痘 【すべての発疹の痂皮化】
☐ 風疹【発疹の消失】 ☐ 百日咳【特有の咳消失 or 抗菌性物質製剤による治療】
☐ 流行性耳下腺炎【耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態の良好】
☐ 結核【感染のおそれなし】 ☐ 咽頭結膜熱（プール熱）【主要症状消褪後2日経過】

◎第3種感染症【感染のおそれがなくなるまで】

- ☐ 腸管出血性大腸菌感染症（O-157） ☐ 流行性角結膜炎
☐ コレラ ☐ 急性出血性結膜炎
☐ 細菌性赤痢 ☐ 腸チフス
☐ パラチフス

※ 第3種その他の感染症

- ☐ A群溶連菌咽頭炎（溶連菌感染症） ☐ マイコプラズマ感染症・異型肺炎
☐ 感染性胃腸炎（ノロウイルス・ロタウイルス・アデノウイルスなど）
☐ 急性細気管支炎（主としてRSウイルス感染によると考えられるもの）
☐ ()

◎その他の意見 ()

※ 【 】内は、学校保健安全法施行規則の定める出席停止期間

◇ 上記の疾患に罹患していたため、学校保健安全法施行規則第19条に基づき療養を支持していましたが、感染のおそれがきわめて少なくなったので、登校が可能であると判断しました。

療養期間 (月 日 ~ 月 日)

平成 年 年 日

医療機関名

医師名

印